

『北海道クルーズ・旅客船メールマガ』は、クルーズ振興が海事振興にとどまらず、地域振興、観光振興にも寄与することから、クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報、地域観光情報等も含め、幅広くご提供したいと考えております。

<目次>

1. 函 館：憧れの船旅へ出かけよう  
～函館港クルーズセミナーを開催～
2. 函 館：地域のクルーズ振興に貢献  
～函館地区クルーズ振興協議会から感謝状～
3. 室 蘭：室蘭の海で働く女性の座談会を開催  
～輝け！フネージョ in むろらん～
4. 函 館：函館水産高校の生徒が国土交通大臣賞の荣誉に  
～ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞～
5. 情 報：「クルーズなんでも屋」vol. 4 8！  
～駅名改称で思うこと～
6. 事務局からのお知らせ

1. 函 館：憧れの船旅へ出かけよう  
～函館港クルーズセミナーを開催～

函館地区クルーズ振興協議会では、3月2日(土)函館市朝市ひろばにおいて、函館港クルーズセミナー「憧れの船旅に出かけよう」を開催し、約80名の参加をいただきました。

第1部では、株式会社JTBクルーズ部部長で、クルーズマスターの齋藤和宏氏より「クルーズ旅行の楽しみ方」と題して基調講演が行われました。

齋藤氏は、クルーズの魅力について、1石2鳥の便利でお得な旅で、普通のパッケージツアーでは体験できない感動があると語られ、日本のクルーズ船社、外国のクルーズ船社の特徴やコース選びの秘訣について、紹介していただきました。

第2部では、日本発着のクルーズを実施している、株式会社カーニバル・ジャパン、郵船クルーズ株式会社、株式会社クルーズバケーションより、多くの画像を用いて、商品の紹介をしていただきました。

これまでクルーズには、あまりかかわりの無かった参加者にもわかりやすく、クルーズ旅行は思いの外、気軽に参加でき、敷居が高くないことが浸透し、関心が高まったのではないかと思います。

函館運輸支局としても、函館地区クルーズ振興協議会の事務局として、函館港が今後ますますクルーズ客船で賑わい、市民の皆様により身近にクルーズを感じていただけるよう、引き続き、取り組みをすすめていきます。

<問い合わせ先>

北海道運輸局函館運輸支局 矢島  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

## 2. 函 館：地域のクルーズ振興に貢献 ～函館地区クルーズ振興協議会から感謝状～

3月2日に行われた函館港クルーズセミナーの開始前に、函館地区クルーズ振興協議会の活動に積極的に参加され、クルーズ振興により地域の発展に多大な貢献をした、「株式会社カーニバル・ジャパン」と「認定こども園ききょう幼稚園」に協議会会長より感謝状を贈りました。

株式会社カーニバル・ジャパンは、胆振東部地震からの復興を後押ししていただいたことおよび遺愛女子高校のクルーズ船による語学研修のサポートをしていただくことに対して、認定こども園ききょう幼稚園は、8年以上にわたって、客船の見送り時等に「いか踊り」を披露し、おもてなしにご協力いただいたことに対して贈られております。

感謝状授与式の詳しい様子や、授与の後の園児の代表者からの可愛い演舞披露の様子は北海道クルーズ振興協議会のホームページでご紹介しておりますので、そちらをご覧ください。

北海道クルーズ振興協議会ホームページ（協議会ニュースのページ）  
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise21/news/20190329.pdf>

<問い合わせ先>  
北海道運輸局函館運輸支局 矢島  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

## 3. 室 蘭：室蘭の海で働く女性の座談会を開催 ～輝け！フネージョ in むろらん～

海洋立国日本において、重要な輸送手段である「海上輸送」を支えるためには、海上輸送の現場で働く船員のみならず、海運や造船等海事産業の人材確保育成が必要不可欠ですが、海事産業の職場は男性中心で、女性が占める割合は、まだまだ低い状況にあります。

国土交通省では、昨年4月から、そのような状況を改善し、海事産業における女性の活躍促進のための取り組みを強力に推進し、その活躍を応援する「輝け！フネージョ」プロジェクトを実施しております。

この座談会はその取り組みの一つで、北海道では本年1月に行われた小樽に続いて、今回の室蘭が2回目の開催です。

室蘭での座談会は3月25日（月）に川崎近海汽船（株）の「シルバークイーン」が停泊するフェリーターミナルの2階フロアにおいて行われました。

座談会には旅客船の船長、旅客船や貨物船入港時の対応を行う船舶代理店の方、製鉄所で製品の船積み指示を行う部署の方、警備救難業務を行う海上保安部の方、実際に港湾業務艇に乗船し、室蘭港の維持管理を行う室蘭開発建設部の方等、幅広い職種の女性達が参加しました。

座談会では「今の仕事のやりがい」や「海の仕事の魅力」などが話し合われ、最後にこれから海事産業で働くことをめざす女性達へ「海の世界は大変特殊な世界でやりがいがある仕事。陸の職場とは違った良い面や海でなければ体験できないことがたくさんあるので、海や船が好きな方はぜひめざしてほしい」というメッセージが贈られました。

また、この座談会をきっかけとして、海の職場で働く仲間としてつながり、引き続き交流を重ねていくことが確認され、座談会は締めくくられました。

座談会の詳細は北海道運輸局のホームページをご覧ください。  
[http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/seninkakuho/310325\\_funejo.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/seninkakuho/310325_funejo.pdf)

<問い合わせ先>  
北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

#### 4. 函 館：函館水産高校の生徒が国土交通大臣賞の荣誉に ～ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞～

函館水産高校1年生2名が製作した新聞「函館港新聞」が日本海事広報協会が主催している「ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞」の中・高校生部門において、最高賞である国土交通大臣賞の荣誉に輝きました。同校では初めての快挙で、他にも3組が佳作に入賞しております。

「ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞」は小・中・高校生に海運や船・港などに興味や関心を深めてもらうことを目的として、これらをテーマとする新聞を募集し、優秀な作品を表彰するもので、今年度は全体で1,105作品、そのうち中・高校生部門は415作品の応募がありました。

1月に行われた最終審査会では石井国土交通大臣より「文字も多く、更に、写真や絵もたくさん起用しているが、その並べ方に工夫がありすっきりした読み易い作品となっている。また、作者の函館港への思いが伝わる、興味を掻き立てられる新聞であった。」と高く評価され、受賞につながりました。

2月21日（木）には同校校長室において表彰式が行われ、北海道運輸局函館運輸支局長から製作した2名に賞状が手渡されました。

ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞の国土交通大臣賞や入賞作品については、日本海事広報協会のホームページをご覧ください。

○国土交通大臣賞の決定について（日本海事広報協会のホームページ）  
<https://www.kaijipr.or.jp/cgi-bin/news/news.cgi?cmd=v&id=1549354349>

○入賞作品決定（日本海事広報協会のホームページ）  
<https://www.kaijipr.or.jp/cgi-bin/news/news.cgi?cmd=v&id=1549352774>

<問い合わせ先>  
北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

#### 5. 情 報：「クルーズなんでも屋」vol.48！ ～駅名改称で思うこと～

先日、3月16日（土）に東京・新橋を発着する「ゆりかもめ」の「船の科学館駅」が駅名を改称して「東京国際クルーズターミナル駅」になりました。

ゆりかもめが開業し早々に「船の科学館」に見学に行ったのですが、当時はポケット地図の時代。しかし、駅名と見学先が同一名称であったので、何も考えもせず降り立ち、見学先に向かうことができました。今であれば、スマートフォンのアプリを使用し、「船の科学館」と入力して道順を検索するだけで、駅が改称されてもストレスなく行くことができるのでしょね。

海と船の文化をテーマとする「船の科学館」は、現在本館展示公開を休止し、初代南極観測船「宗谷」を中心とした屋外展示資料と「別館展示場」が公開されているとのことです。

ゴールデンウィークはいよいよ1ヶ月後となります。東京へ行く機会がありましたら、この科学館見学はいかがでしょうか。

なお、新駅名にある「東京国際クルーズターミナル」は、2020年7月に開業予定とし、同年7月14日に、第1船としてクルーズ客船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」が入港予定とのことです。

施設等に関する詳しい内容については、各所のホームページをご覧ください。

・船の科学館  
<https://funenokagakukan.or.jp/>

・東京国際クルーズターミナル  
<https://www.tokyo-international-cruise-terminal.jp/>

クルーズなんでも屋は、クルーズに関する「よもやま話」を取り扱うお店です。

疑問に思ったこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。  
皆様から数多くの投稿をお待ちしております。

「クルーズなんでも屋」へのご投稿は、こちらまで  
<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

## 6. 事務局からのお知らせ

1

クルーズ寄港情報や過去のメールマガジンについては、北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。  
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

2

購読新規登録はこちらから  
[http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13\\_1.html](http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_1.html)

3

登録変更・解除はこちらから  
[http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13\\_2.html](http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_2.html)

北海道クルーズ振興協議会 事務局  
国土交通省 北海道運輸局 海事振興部  
旅客・船舶産業課 武部 千穂  
TEL:011-290-1011 FAX:011-290-1021  
<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>